

会員研究発表リスト—2013年4月～2014年3月—

安藤直紀 教授

- (論文) Determinants of foreign subsidiary staffing by service firms (with N. Endo), *Management Research Review*, 36 (6), 2013年
- (論文・学会発表) The dominant practice for foreign subsidiary staffing and the subsidiary performance, Workshop on strategic human resource management, 2013年4月
- (論文・学会発表) The effect of isomorphic behavior on subsidiary performance, Academy of International Business Conference, 2013年7月
- (論文・学会発表) Localization and the performance of foreign subsidiaries (with Y. Paik), Academy of International Business Conference, 2013年7月
- (論文・学会発表) Foreign direct investment of Japanese logistics firms: Determinants of the ownership strategy in the foreign subsidiary (with N. Endo and T. Ozaki), The 6th International Conference of Asian Shipping and Logistics, 2013年8月

池田宏一郎 教授

- (招待講演) ジェネリック構造について, 日本数学会秋季総合分科会, 愛媛大学, 2013年9月
- (招待講演) NSOP_4 and the Hrushovski construction, 13th Asian Logic Conference, Sun Yat-Sen University, Guangzhou (China), 2013年9月
- (学会発表) モデル完全なジェネリック構造I (桔梗宏孝氏と共同研究), 日本数学会年会, 学習院大学, 2014年3月
- (学会発表) モデル完全なジェネリック構造I (桔梗宏孝氏と共同研究), 日本数学会年会, 学習院大学, 2014年3月
- (研究発表) ジェネリック構造と可算モデルの数, モデル理論夏の学校, 東海大学高輪台キャンパス, 2013年8月
- (研究発表) Some Remark on generic structures, RIMS 研究集会「モデル理論における独立概念と次元」, 京都大学数理解析研究所, 2013年11月

石原紀子 准教授

- (査読論文) Takamiya, Y., & Ishihara, N. Blogging: Cross-cultural interaction for pragmatic development., John Benjamins, Taguchi & J. Sykes (Eds.), *Technology in interlanguage pragmatics research and teaching* (pp. 185-214), 2013年6月
- (査読論文) Ishihara, N. Teacher-based assessment of L2 Japanese pragmatics: Classroom applications., Palgrave Macmillan, S. Ross & G. Kasper (Eds.), *Assessing second language pragmatics* (pp. 124-148), 2013年12月
- (査読論文) Ishihara, N. (2013). Is it rude language? : Children learning pragmatics through visual narratives., *TESL Canada, TESL Canada Journal* 30 (3) (pp. 135-149), 2013年9月
- (学会発表) Ishihara, N. Applying politeness theory in the classroom. Joint panel with Jack Barrow and Kimiko Kosei., Annual Conference of Japan Association for Language Teaching, Kobe, Hyogo., 2013年10月
- (学会発表) Ishihara, N., & Takamiya, Y. *Learning pragmatics through blogging: An ethnographic*

study of telecollaboration., Annual Conference of American Association for Applied Linguistics, Portland, OR., 2014年3月

宇田川 勝 教授

- (著書) 財閥経営と企業家活動, 森山書店, 2013年4月
- (コラム) 久原房之助・鮎川義介・小平浪平の信頼関係, 春光懇話会事務局, 『Wave 21』 No.144, 2013年5月
- (講演) 日本経済と財閥, 法政大学経営学部同窓会総会, 法政大学, 2013年7月
- (著書) 日本の自動車産業経営史, 文眞堂, 2013年10月
- (著書) 春光グループの歴史余話, 春光懇話会事務局, 2013年12月
- (監修) 日本水産百年史(デジタル版), 日本水産, 2014年3月
- (監修) A History of Hundred Years of Nippon Suisan kaisha, Ltd. (TEXT / PDF), 日本水産, 2014年3月
- (監修、共編著) 企業家活動でたどる日本の食品産業史, 文眞堂, 2014年3月

大下 勇二 教授

- (著書) 『税務会計Ⅰ・Ⅱ』, 法政大学通信教育部, 2013年10月
- (論文) 「フランス連結会計基準の国際的調和(21)ー税務会計の影響ー」, 法政大学経営学会, 『経営志林』第50巻第3号, 2013年10月

北田 皓嗣 准教授

- (論文(共著)) Labor Resource Use for Endoscopic Gastric Cancer Screening in Japanese Primary Care Settings : A Work Sampling Study, Public Library of Science, *PloS one*, 9 (2), e88113, 2014年2月
- (論文(共著)) Using Profit Information for Production Management : Evidence from Japanese Factories, Emerald Group Publishing Limited, *Journal of Accounting & Organizational Change*, 9 (4), 408-426.2013年9月
- (論文(単著)) 計算の銘刻としての会計, 日本情報経営学会誌 日本情報経営学会誌 33 (4), 31-39, 2013年9月
- (報告書(共著)) International Corporate Sustainability Barometer, CSM (Center for Sustainability Management), 2013年7月

金 容度 教授

- (論文) 日米企業システムの比較史序説(1), 法政大学経営学会, 『経営志林』第50巻第1号, 2013年4月
- (論文) 半導体復権は「過去」にこそ学べ, 毎日新聞社, 『エコノミスト』2014年3月18日号, 2014年3月18日
- (論文) 鉄鋼の設備投資と取引の関連についての史的考察ー両大戦間期を中心にー, (法政大学イノベーション・マネジメント研究センター, 『イノベーション・マネジメント』(Journal of Innovation Management) No.11, 2014年3月
- (Book Review) Daqing Yang, *Technology of Empire: Telecommunications and Japanese Expansion in Asia, 1883-1945*. Cambridge, Mass.: Harvard University Asia Center, 2010, *Business History Review* (Harvard Business School), Volume 87 Issue 2 (2013 Summer Issue), June

2013

- (書評) マリー・アンチョルドギー (安部悦生・内田金生・山下充 監訳) 『日本経済の再設計ー共同体資本主義とハイテク産業の未来ー』文真堂, 経営史学会, 『経営史学』第48巻第2号, 2013年
- (書評) 下谷政弘・鈴木恒夫編『講座・日本経営史5 「経済大国」への軌跡1955～1985』ミネルヴァ書房, 経営史学会, 『経営史学』第48巻第2号, 2013年
- (学会報告) ICのマーケティングと企業間関係ー1970年代と80年代を中心にー, 経営史学会, 経営史学会第49回全国大会統一論題報告 (龍谷大学), 2013年10月27日
- (講演) 液晶部材の産業組織と企業間取引, 野村證券, 機関投資家向けセミナー, 2013年6月18日

木村純子 教授

- (研究ノート) 酪農加工品の価値創造: パルミジャーノ・レッジャーノチーズの事例, 法政大学経営学会, 『経営志林』50巻1号, pp 65-81., 2013年4月
- (資料) 食料産業クラスターの協調的価値創造: パルマワインの事例, 法政大学経営学会, 『経営志林』50巻1号, pp 129-142., 2013年4月
- (論文) イタリアのワイン・クラスターの競争優位: DOC ルガーナの事例, 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター, ワーキングペーパー No.145, 2013年6月
- (研究ノート) イタリアにおける食の消費価値, 法政大学経営学会, 『経営志林』50巻2号, pp 35-49, 2013年7月
- (資料) 食育のための連携体制の構築: パルミジャーノ・レッジャーノの事例, 法政大学経営学会, 『経営志林』50巻2号, pp 71-92, 2013年7月
- (論文) 食育活動とテリトリオ: イタリア・カンパーニャ州の教育農場の事例, 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター, ワーキングペーパー No.147, 2013年8月
- (論文) テリトリオ農産品の構成要素: イタリアの食育活動における言説を手がかりに, 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター, ワーキングペーパー No.148, 2013年8月
- (研究ノート) 地理的表示保護産品の特徴と地理的原産地とのつながり: イタリアのGI産品を手がかりに, 法政大学経営学会, 『経営志林』50巻第3号 pp79-106., 2013年10月
- (論文) イタリア人の食実践の参与観察のフィールドノート, 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター, ワーキングペーパー No.150, 2014年2月
- (研究ノート) ワイン・クラスターの競争優位ーイタリア DOC ルガーナの自立した戦略ー, 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター, 『イノベーション・マネジメント』No.11, 2014年3月

倉田俊彦 教授

- (論文) Sheaf-theoretical representation of concrete domains, 京都大学数理解析研究所, 京都大学数理解析研究所講義録 1832, 2013年4月
- (口頭発表) Grzegorzcyk 階層と loop プログラムに関する考察, 国立大学草津セミナーハウス, ラムダ計算と論理の晩夏セミナー, 2013年9月
- (口頭発表) Grzegorzcyk 階層と loop プログラムに関する考察, 高知工科大学, 高知ロジックセミナー, 2013年9月

(口頭発表) Sheaf-theoretical representation of concrete domains, 愛媛大学, 日本数学会秋季総合分科会, 2013年9月

(口頭発表) 高階逐次計算と層の逆像・準同型, 国立大学草津セミナーハウス, ラムダ計算と論理の早春セミナー, 2014年3月

近 能 善 範 教授

(報告) 「ネットワークと企業成果ー日本自動車産業におけるモノと知識のネットワークの変遷ー」, 法政大学経営学会&イノベーション・マネジメント研究センター, 研究報告会, 2013年10月

佐 藤 陽 子 教授

(Book chapter) Retrospective verbal reports as a way to investigate cross-cultural pragmatic problems in oral interaction, Cambridge Scholars Publishing, Cross-culturally Speaking, Speaking Cross-culturally, Ch 1, 11-45, 2013年12月

(論文) Short-term ESL study abroad: Do Japanese students communicate in English more easily after the programme?, The International Journal of Arts & Sciences, The Proceedings of the Conference of the International Journal of Arts & Sciences, 6 (2) , 1-7, 2013年11月

(論文) The impact of short-term study abroad experiences on Japanese university English learners' communicative competence: Learner perception, The British Association for Applied Linguistics, The Proceedings of the 45th Annual Meeting of the British Association for Applied Linguistics, 213-218, 2013年7月

(論文) Short-term ESL study abroad: Are Japanese students "more pleasant" to talk to after the programme?, The British Association for Applied Linguistics, The Proceedings of the 45th Annual Meeting of the British Association for Applied Linguistics, 219-224, 2013年7月

(学会発表) Short-term ESL study abroad experiences: Do they reduce Japanese students' difficulty in oral communication in English?, The International Journal of Arts & Sciences, Mediterranean Conference for Academic Disciplines, 2014年3月

鈴 木 眞 奈 美 教授

(学会発表) 日本人の英語学習者を対象としたプロセス・ライティングの研究: プランニングとリビジョンを中心に, 全国英語教育学会, 2013年8月

(学会発表) *A Review of Process-Oriented Writing Research*. (October 27, 2013) . Paper presented at the 39th JALT (The Japan Association for Language Teaching) International Conference, Kobe, Japan., The Japan Association for Language Teaching (JALT), 2013年10月

(学会発表 (共著)) *Language and Communication in Pre- and Post- International and Domestic Mergers and Acquisitions*. (November 30, 2013) . Paper presented at the 30th Euro-Asia Management Studies Association (EAMSA) Annual Conference, Duisburg, Germany., Euro-Asia Management Studies Association (EAMSA), 2013年11月

(学会発表 (共著)) 外資系多国籍企業の日本におけるIM&AとDM&A前後の言語、コミュニケーション、文化について, 多国籍企業学会 東部 12月例会, 2013年12月

竹 内 淑 恵 教授

(著書 (編著)) リレーションシップのマネジメント 文眞堂 2014年3月

- (論文(共著)) The impact of natural disasters on the values and lifestyles of consumers : in the case of the Tohoku Earthquake, *Journal of Global Scholars of Marketing Science*, Vol.24, No.2, pp.172-188., 2014年2月
- (研究ノート) 「市場を創る」が変わるー論点提示型コミュニケーションの可能性ー, 公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団, *AD STUDIES*, Vol.44, pp.22-28., 2013年5月
- (学会発表(共同)) 分譲マンションの満足度構造とリレーションシップ形成, 第47回消費者行動研究コンファレンス, 2013年10月
- (学会発表(共同)) 若年層のテレビ及びPC、スマートフォンにおけるテレビ番組の視聴行動, 第47回消費者行動研究コンファレンス, 2013年10月
- (学会発表(共同)) 購買態度形成プロセスにおけるソーシャルメディアの効果, 日本マーケティング・サイエンス学会第93回研究大会, 2013年6月

田路 則子 教授

- (研究ノート) 「日本のWEBビジネスの起業家活動ー首都圏およびシリコンバレーの定量調査分析」田路則子・新谷優, 法政大学, 『イノベーション・マネジメント』No.11 Pp105-121, 2014年3月
- (学会発表) 「日本のWEBビジネスを担う起業家像ー首都圏における定量調査分析ー」田路則子・新谷優, ベンチャー学会, 16回全国大会予稿集, 2013年11月
- (学会発表) "The Global Strategy of High-Tech Startups-Case Studies of Cambridge Region , Noriko Taji, IEEE ITMC, The proceeding of IEEE ITMC, June, 2013, DenHaag, Netherlands, 2013年6月
- (著書) 「ハイテク産業における研究開発者のキャリア」田路則子, 白桃書房, 『日本のキャリア論ー専門職編』金井壽宏編著, p133 ~ p159 担当, 2013年5月
- (書評) 川上桃子著 『圧縮された産業発展ー台湾ノートパソコン企業の成長メカニズムー』, アジア経済研究所, アジア経済 54巻3号, p131 ~ 134, 2013年9月
- (著書) 半導体商社の事業ドメイン拡大のメカニズム, 文眞堂, 『リレーションシップのマネジメント』竹内淑恵編著, pp.168 ~ 188 担当, 2014年3月

新倉 貴士 教授

- (論文) 化粧品と消費者行動: ブランド価値の構築に向けて, 日本化粧品学会, 『日本化粧品学会誌』, Vol.37 No. 3, pp.192-196., 2013年12月
- (論文) 消費者の業態認識モデル, 日本マーケティング学会, 『マーケティングジャーナル』, Vol.33 No.4, pp.43-56., 2014年3月
- (論文) 消費者行動とリレーションシップ・マーケティング, 文眞堂, 『リレーションシップのマネジメント』, 所収, 204-218頁., 2014年3月
- (学会発表) 「消費者の業態認識モデルの展開」, 第47回消費者行動研究コンファレンス, 2013年10月
- (学会発表) 「化粧品と消費者行動: ブランド価値の構築に向けて」, 第38回日本化粧品学会(招待講演), 2013年6月

西川 英彦 教授

- (著書, 分担執筆) 「関係性を分離・結合する通貨の可能性」, 水越康介・藤田健編 『新しい

公共・非営利のマーケティング：関係性にもとづくマネジメント』, pp.141-161., 碩
学舎, 2013年4月

(著書, 分担訳) 「国際展開による成長」, 嶋口充輝・竹村正明監訳『コトラー 8つの成長戦略:
低成長時代に勝ち残る戦略的マーケティング』(原題 Market Your Way to Growth: 8
Ways to win), pp.193-220., 碩学舎, 2013年5月

(著書, 分担執筆) 「eコマースによる拡大」石原武政・忽那憲治編『商学への招待』, pp.284-
303., 有斐閣, 2013年8月

(著書, 分担執筆) 「ユーザーイノベーション」日経デジタルマーケティング編『最新マーケ
ティングの教科書』, pp.58-59., 日経BP社, 2013年12月

(論文, 共著) User-Generated Versus Designer-Generated Products: A Performance Assessment at
Muji, Hidehiko Nishikawa, Martin Schreier and Susumu Ogawa, International Journal of
Research in Marketing, 30 (2), pp.160-167., Finalist, 2013 Best Paper Award of the
International Journal of Research in Marketing, 2013年6月

(学会発表) 「グローバルウェブサイトの戦略類型ー比較ケースを通じて」, 岸谷和広・栗木契・
西川英彦・水越康介, 日本商業学会関西西部会4月例会, 大阪市立大学文化交流センター,
2013年4月

(学会発表) 「ネット・リテラシーとソーシャルメディア利用に関する研究」, 西川英彦・岸
谷和広, 日本マーケティング・サイエンス学会 マーケティング・ダイナミクス研究部
会, 構造計画研究所本所新館, 2013年8月

(学会発表, 共著) Language and communication in pre- and post-international and domestic
mergers and acquisitions, Suzuki Manami and Hidehiko Nishikawa, the 30th Euro-Asia
Management Studies Association (EAMSA) Annual Conference, University of Duisburg-
Essen, Germany, 2013年11月

(学会発表, 共著) 「外資系多国籍企業の日本におけるIM&AとDM&A前後の言語, コミュ
ニケーション, 文化について」, 鈴木真奈美・西川英彦, 多国籍学会東部12月例会,
明治大学, 2013年12月

入戸野 健 教授

(論文) Association Rule Generation and Mining Approach to Concept Space for Collective
Documents, International Statistical Institute, Proceedings of the 59th World Statistics
Congress of the International Statistical Institute, 2013年8月

長谷川 翔 平 専任講師

(ディスカッションペーパー) Modeling Preference Change through Brand Satiation, 東北大学
サービス・データ科学研究センター, No.1, 2013年4月

(学会発表) 消費者の選好変化の動的ミクロ構造モデリング, 統計関連学会連合大会, 2013
年9月

林 直 嗣 教授

(報告) 「5年先を目指した教育改善モデルの提案」(林直嗣), 私立大学情報教育協会, 『平
成25年度 教育改革FD/ICT 理事長・学長会議等報告書』, 2013年8月

(報告) 「未知の時代を切り拓く人材育成を考える」(井端正臣・林直嗣), 私立大学情報教育
協会, 『平成25年度 教育改革ICT 戦略大会 資料』, 2013年9月

- (学会討論) Comments on McCallum : Choice of Monetary Policy Rules for Japan : Analytical Issues Concerning Japanese Monetary Policy, 1995-2013" The Conference of the Japan Public Choice Society, at Aoyama Gakuin University, 2013年10月
- (論文) 「金融政策の運営目標と政策ルール：日銀反応関数の理論と実証（上）」, 法政大学経営学会, 『経営志林』第50巻第3号、pp.1-14., 2013年10月
- (論文) 「金融政策の運営目標と政策ルール：日銀反応関数の理論と実証（下）」, 法政大学経営学会, 『経営志林』第50巻第4号、pp.21-36., 2014年1月
- (著書) 『実習 Visual Basic 最新版』(林直嗣・児玉靖司共著) サイエンス社
2014年1月

平田 英明 教授

- (論文(共著)) Strategy Switching in the Japanese Stock Market. *Journal of Economic Dynamics and Control* 37, no. 10: 2010-2022.
- (書籍(共著)) Regionalization vs. Globalization. In *Global Interdependence, Decoupling, and Recoupling*, 87-130. MIT Press.
- (書籍(共著)) Global House Price Fluctuations: Synchronization and Determinants. In *NBER International Seminar on Macroeconomics 2012*, 119-166. University of Chicago Press.
- (書籍(共著)) 「第三章 被災地企業の設備投資・移転・サプライチェーン」、東北大学大学院経済学研究科地域産業復興調査研究プロジェクト編『東日本大震災復興研究Ⅲ 震災復興政策の検証と新産業創出への提言』河北新報出版センター、pp.52-70.
- (ワーキングペーパー(単著)) Preference Shocks, International Frictions, and International Business Cycles.
- (用語集(単著)) トランザクション貸出 QE3, 金融ジャーナル社, 『2014年版 金融時事用語集』, 2014年1月

福田 淳児 教授

- (論文) 「スタートアップ企業における MCS 研究に向けて」, 法政大学経営学会, 『経営志林』第50巻第4号, 2014年1月
- (ワーキングペーパー) 「事業部間での知識の移転—セイコーエプソン株式会社のケース—」, イノベーション・マネジメント研究センター, イノベーション・マネジメント研究センターワーキングペーパーシリーズ No.146 (木村登志男先生との共著), 2013年7月

洞口 治夫 教授

- (論文(査読有)) "Hardy-Weinberg Equilibrium and Mixed Strategy Equilibrium in Game Theory," *Theoretical Economics Letters*, vol.3, no.2, pp.85-89, April 2013.
- (論文(査読有)) "Aircraft Industry in Japan: Niche Construction and Patent Portfolio Strategy," *Journal of Modern Accounting and Auditing*, vol. 9, no.7, pp.908-921, July 2013.
- (著書) 『日本経済の成長戦略—ミクロ経済政策からの試論—』, Amazon Services International, Inc., 2013年7月.
- (論文) 「マレーシア現地企業の工場管理とグローバル経営の不均衡進化—1999年調査と2012年調査の比較検討—(2)」, 法政大学経営学会, 『経営志林』第50巻第2号, 2013年7月.
- (学会報告・論文(査読有)) "Forecasting the Exchange Rate as a Group Experiment: The Wisdom

of Crowds and the Social Influence Effect,” the Academy of International Business,, 2013 Annual Meeting, July 5, 2013, Istanbul, Turkey.

(学会報告・論文(査読有)) “Internal Structure of Innovation Cluster: Stochastic Interdependence in Business-University- Government Alliances,” the Strategic Management Society,, the 33rd Annual International Conference, Sept. 28 - Oct. 1, 2013, Atlanta, U.S.A.

(著書) *Collective Knowledge Management : Foundations of International Business in the Age of Intellectual Capitalism*, Edward Elgar, March 2014.

宮 澤 信二郎 准教授

(研究報告書(分担)) EU 国家補助規制の考え方の我が国への応用について, 公正取引委員会, 競争政策研究センター共同研究報告書 CR03-13, 2013年7月

(著書(分担)) 損害を賠償することの意味とは: 不法行為法, 有斐閣, 『エコノリーガル・スタディーズのすすめ』7章, 2014年3月

山 寄 輝 准教授

(論文) Exponential Levy Models Extended by a Jump to Default, Taylor & Francis, *Applied Mathematical Finance*, Vol.20, No.3, pp.211-228, 2013年6月

(論文) On Valuation with Stochastic Proportional Hazard Models in Finance, World Scientific, *International Journal of Theoretical and Applied Finance*, Vol.16, No.3, pp.1-34, 2013年4月

吉 田 康 伸 教授

(論文) スポーツ系学生と一般学生の身体動作比較—Functional Movement Screen を指標にして—, 法政大学スポーツ研究センター, 法政大学スポーツ研究センター紀要 第32号, 2014年3月

李 瑞 雪 教授

(著書) 中国物流産業論——高度化の軌跡とメカニズム——, 白桃書房, ISBN978-4-561-65208-3, 2014年1月

(論文) 鉄道コンテナセンター駅の整備戦略, 月刊 ロジスティクス・ビジネス No. 149, 2013年8月

(著書) 日本企業物流与供給鏈管理案例精選, 中国財富出版社, ISBN 978-7-5047-4568-2, 2013年6月

(論文) Reexamination of Logistics Strategy Typology : Introducing New Perspectives from Cases in Emerging Markets, 日本物流学会誌 第21号, 2013年5月

(ワーキングペーパー) 中国鉄道貨物輸送システムの高度化に関する一考察——コンテナ・ターミナルのネットワーク整備を中心に——, 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター, ワーキングペーパー No.141, 2013年5月

(その他) 中国最強 順豊速運(SF) の実像, 月刊 ロジスティクス・ビジネス No. 146, 2013年5月

(学会発表) ロジスティクス・クラスターの形成メカニズムに関する探索的研究: 中国鉄道コンテナセンター駅を事例に, 日本物流学会第30回全国大会, 於: 東京海洋大学, 2013年9月14日

小坂 恵理子 (Eliko Monica Kosaka) 専任講師

- (論文) 「キベイ二世の語りの読み直し—ミノル・キヨタの『日系反逆児—アメリカにおける民権蹂躪と迫害の記録』と *Beyond Loyalty: The Story of a Kibei* に介在する複合的な分裂」, 金星堂, 『憑依する過去—アジア系アメリカ文学におけるトラウマ・記憶・再生』, 301—315頁., 2014年3月
- (学会発表) 「はざままで書くキベイ二世: ミノル・キヨタ『日系反逆児—アメリカにおける民権と迫害の記録』と *Beyond Loyalty: The Story of a Kibei* における日系アメリカ人像」, 日本比較文学会 東京支部例会, 2013年7月
- (学会発表) A Travelling Asian American Narrative: Reiterating American Pacific War Memory in Yamazaki Toyoko s Futatsu no sokoku , ASCJ Conference (使用言語: 英語), 2013年6月
- (学会発表) A Kibei Nisei Narrative: An Examination of Masao Yamashiro s *Kibei Nisei* 『帰米二世』, AAAS 学会、定例会 (使用言語: 英語), 2013年3月

矢作 敏行 教授

- (図書・分担執筆) 第3章 「国際マーケティング」, 吉原英樹・白木光秀・新宅純二郎・浅川和弘編 有斐閣, 『ケースに学ぶ国際経営』 pp.78-98, 2013年12月
- (図書・分担執筆) 第11章 「流通」(鍾淑玲氏との共同執筆), 吉原英樹・白木光秀・新宅純二郎・浅川和弘編 有斐閣, 『ケースに学ぶ国際経営』 pp.240-264, 2013年12月
- (論文) 「NB と PB — 2つのブランドの歴史素描」, 法政大学経営学会, 『経営志林』第50巻第1号 pp.15-33, 2013年4月
- (論文) 「プライベート・ブランド戦略の基本論点」, 法政大学経営学会, 『経営志林』第50巻第3号 pp.15-30, 2013年10月
- (論文) 「小売事業モデルの革新論—分析枠組の再検討—」, 日本マーケティング協会, 『マーケティングジャーナル』第33巻第4号、pp.16-28, 2014年3月
- (研究ノート) 「カテゴリー革新型デュアル・ブランド戦力の展開」, 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター, 『イノベーション・マネジメント』No.11 pp.123-143, 2014年
- (学会報告) 「小売業とイノベーション」, 日本商業学会第63回全国研究大会統一論題基調報告立命館大学、滋賀県, 2013年5月25日

